

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和4年9月2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社マブチ
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通17番地 JPR日本大通ビル3F
代表者役職・氏名	代表取締役社長 坂本 幹夫
担当者連絡先	電話：045-210-0055 メール：
ウェブサイトURL	https://www.k-mabuchi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は昭和29年に創業し、輸出梱包をメインとして物流を支えています。横浜、名古屋、神戸港湾地区に3つの梱包工場を所有しています。

工場で製品を梱包し、港湾事業者に依頼してバンニング作業、船積み業務を行い輸出を行っております。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 □社会 ✓経済	組織的・積極的な営業の推進により業績拡大に努め、地域経済に貢献する	連結売上高：250億円達成
✓環境 □社会 □経済	温室効果ガス排出量を削減する	横浜・名古屋・神戸工場において 2019年度（2018年10月～2019年9月）比 ：20%削減
□環境 ✓社会 □経済	女性活躍を推進する	新卒採用の女性比率：30%以上 女性管理職：10%以上

（次項へ続く）

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	2021年4月にハラスメント相談窓口を設置 2022年6月に内部通報窓口を設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント防止規程に基づきハラスメント相談窓口を設置。ハラスメント対策実施中 管理職研修においてハラスメント防止教育を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	勤怠システムにて残業の管理を実施。2022年10月より勤怠システムをリニューアル。システム上でアラート発信される仕組みを導入。管理職の過重労働防止について全社通知。半期毎に確認及び指導								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	ハラスメント相談窓口、内部通報窓口にて情報収集しているが、現時点では差別・人権侵害は確認なし			4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	SQ推進室を設置し、各工場に安全衛生の取組を展開 「中央安全衛生委員会」を設置し毎年取組を実施		3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	2019年外部委託にて各拠点面談実施 オンライン産業医を2022年9月に導入 人事Gにより全社員の面談を実施中		3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	2022年10月ユニフォームを一新。男女兼用デザインとする			5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	職務に応じた研修を実施【管理職研修・新任管理職、人事制度に基づく1次評価者他】 講習会・研修会・展示会に参加			4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	雇用形態に関わらず規定条件満たせば諸手当【家族手当・資格手当】支給（就業規則2022年4月改定）				5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	福利厚生として健康支援サービスを含むアソシエ俱楽部に加入		3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	自社より出た廃棄物を再生しPPバンド・ポリシート・ポリ袋等に再加工して自社にて使用。部材作成後、梱包→輸送→納品後に回収・リペアを行うリターナブル梱包の推進										11.6 12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	横浜工場、名古屋工場、神戸工場では電気使用量をエクセル等で管理し、年次、月次で比較し効率化を推進 栃木事業所、多摩工場、鏡事業所で電気の設定使用量を超えるとアラートを発するシステムを導入						7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	【予定】SDGs推進室を設置し、温室効果ガスの排出量の自社把握を2022年末までに実施予定						7.2 7.3					12.4 13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	RoHS、REACH、chemSHERPA等の環境調査資料の客先への提出を必要に応じて実施 chemSHERPA研修受講済み			3.9			6.3				11.6	12.4						
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	プラスチック削減に向けて、バイオマス原料配合のプラスチックパレットを使用 その他、生分解性製品や環境配慮型商品の調達に取り組み中						6.6								15			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	横浜工場、名古屋工場では水道量をエクセルにて管理し、年次、月次で比較し効率化を推進						6.4											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	多摩工場にてISO14001を取得【JQA-EM5548】			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	当社HPにて情報開示												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	横浜工場・川口工場・多摩工場にてRE100の導入						7.2					13						
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	バイオマス原料配合のプラスチックパレットを使用 その他、生分解性製品や環境配慮型商品の調達に取り組み中											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	JISS規格に基づく木箱梱包を実施 JISS規格に準じたスチール設計を実施			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	技術部を設置し品質向上の検討を実施 SQ推進室を設置し品質に関する社内展開を実施									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	リターナブルラックを設計・開発						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	資源の廃棄の課題に対して、リターナブルラックを設計・開発し資源の有効活用を実施 バイオマス原料配合のプラスチックパレットを使用している他、生分解性製品や環境配慮型商品の調達に取り組み中	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	かながわSDGsパートナー認定 神奈川経済同友会に入会し、地域企業とのコミュニケーション促進中				4					9		11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	日本赤十字社「令和元年台風第19号災害義援金」に寄付。えのすいecoセンターに入会し、9月にビーチクリーン活動実施。かながわトラストみどり財団に登録支援。支援型自動販売機の設置。				4							11		14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	拠点毎に地場産業からも調達を実施								8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	2021年に制定した「中期経営計画」にて「SDGsの取組推進」を記載										8	9					17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	動画によるコンプライアンス教育を実施 内部通報窓口を設置																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	SDGs推進室を2022年4月に設置																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	大手取引先との協力会に入会・参加 労働組合との労働懇談会を定期的に実施 株主との役員交流実施																16 17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	リスク管理基本規程を2021年1月に制定 12個のリスクカテゴリーごとにリスク管理規則も制定 毎月の取締役会にてリスク状況について報告																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	経済産業省より地域未来牽引企業に選定 引き続き選定されるよう活動を実施中 産学チャレンジプログラムにて学生に学びの機会を提供																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	総則及び8つの項目に対するBCPを作成											9	11	13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	取締役会にて適宜検討・対策を実施 M&Aにて企業の事業継承をバックアップ										8	9					17

上記以外で設定した取組項目

(様式第4号)

令和5年10月4日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 神奈川県横浜市中区日本大通17番地
JPR 横浜日本大通ビル3階

名 称： 株式会社マブチ

代 表 者： 坂本 幹夫

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	組織的・積極的な営業の推進により業績拡大に努め、地域経済に貢献する	連結売上高：250億円達成	2022年9月期で連結売上高244億円（達成率98%）
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	温室効果ガス排出量を削減する	横浜・名古屋・神戸工場において 2019年度(2018年10月～2019年9月)比 ：20%削減	2022年度の温室効果ガス排出量削減実績：2019年度比53%削減（超過達成）
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	女性活躍を推進する	新卒採用の女性比率： 30%以上 女性管理職：10%以上	2023年4月女性新卒採用比率 66%（超過達成） 女性管理職 1.3%（達成率 13%）

(様式第4号)

令和6年10月23日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 横浜市中区日本大通17番地

JPR横浜日本大通ビル3階

名 称： 株式会社マブチ

代 表 者： 坂本 幹夫

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	組織的・積極的な営業の推進により業績拡大に努め、地域経済に貢献する	連結売上高：250億円達成	2023年9月期で連結売上高233億円（達成率93%）
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	温室効果ガス排出量を削減する	横浜・名古屋・神戸工場において 2019年度(2018年10月～2019年9月)比 ：20%削減	2023年度の温室効果ガス排出量削減実績：2019年度比47%削減（超過達成）
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	女性活躍を推進する	新卒採用の女性比率： 30%以上 女性管理職：10%以上	2024年4月女性新卒採用比率 20%（達成率67%） 女性管理職 1.3%（達成率13%）

(様式第4号)

令和7年11月5日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 横浜市中区日本大通17番地
JPR横浜日本大通ビル3階

名 称： 株式会社マブチ

代 表 者： 坂本 幹夫

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	組織的・積極的な営業の推進により業績拡大に努め、地域経済に貢献する	連結売上高：250億円達成	2024年9月期で連結売上高221億円（達成率88%）
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	温室効果ガス排出量を削減する	横浜・名古屋・神戸工場において 2019年度(2018年10月～2019年9月)比 ：20%削減	2025年度の温室効果ガス排出量削減実績：2019年度比43%削減（超過達成）
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	女性活躍を推進する	新卒採用の女性比率： 30%以上 女性管理職：10%以上	2025年4月女性新卒採用比率 0%（達成率0%、3名全員男性） 女性管理職2.7%（達成率27%）